

おにぎりアクション

オリジナルおにぎり

おにぎりの写真をSNSに投稿するだけでアフリカ、アジアの子どもたちに学校給食の支援ができるおにぎりアクション。11回目の開催ではじめてオリジナルおにぎりが誕生しました！「おにぎりでつながる」をテーマにアイデアを出し合い、実践女子大学の有志学生が形に。雨晴食堂限定&期間限定で提供します。ぜひ手に取って、おいしく楽しくおにぎりアクションにご参加ください！

大学生が開発！



十六穀米使用

ツナタルタルのせカツおにぎり

人気具材ツナマヨ×カツでボリュームを持たせつつ、十六穀米で健康にもお財布にも配慮したおにぎり。健康・経済・嗜好をバランスよくつけたメニュー。SNS映えも◎

人参しりしりと鮭のおにぎり

北海道の鮭、沖縄の人参しりしり、日本の真ん中あたりに位置する福井県のお米「いちほまれ」が出会い、日本全体のつながりを表現。



写真の4種に加え、おにぎりアクション協賛パートナーこだわりの「素材を味わうおにぎり」の計5種！

さつまいもとカシューナッツ入り 味噌焼きおにぎり

おにぎりアクションの支援先である東アフリカに産地を持つさつまいもとカシューナッツを使用し、日本生まれの焼きおにぎりに。ナッツとさつまいもの異なる食感も楽しめます。

いずれも福井県のブランド米「いちほまれ」を使用

だしとまいたけがやさしく香る トマト炊き込みおにぎり

アフリカで親しまれているトマトとアフリカ原産のオクラが日本の出汁と出会う、アフリカと日本をつなぐメニュー。オクラの断面の星型（スワヒリ語で星＝ニョタ）を活かし、見た目もかわいく考案しました。

おうちで作れるレシピも順次公開！SNSをチェック>>



おにぎりで世界を変える「おにぎりアクション」

おにぎりアクションは、日本の代表的な食である「おにぎり」をシンボルに、「おにぎり」の写真をSNS (Instagram, X, Facebook)、または特設サイトに投稿すると、1枚の写真投稿につき給食5食分に相当する寄付(100円)を協賛企業が提供し、認定NPO法人TABLE FOR TWO International (TFT) を通じてアフリカ・アジアの子どもたちに給食をプレゼントできる取り組みです。



おにぎりいただきます
& 写真撮影



写真をサイトに投稿
または#OnigiriActionを付けて
SNSで投稿

THANK YOU!



TABLE FOR TWOを通じて
アフリカ・アジアの
子どもたちに給食が届く

▼おにぎりアクション
特設サイト



おにぎりアクション2025
2025年10月7日 (火) ~11月15日 (土)

学校給食がつくる子どもたちの未来

TFTが届けている給食は、できる限りその土地で採れる食材を用い、子どもたちがより多くの栄養を摂取できるように配慮しています。家業の手伝いなどで学校に通えなかった子どもたちが、給食提供が始まって以来、学校に戻ってきています。**1食の給食が、教育にも直結し、子どもたちが将来、貧困から脱するための重要な鍵となっています。**



支援先：ケニア

力を合わせてつくりました



アイデア協力 (おにぎりフレンズ) : ボーイスカウト水戸第5団ビーバー隊、青稜中学校高等学校SDGs部、一般社団法人ガールスカウト東京都連盟、京都先端科学大学附属中学校高等学校

アイデア協力、商品・技術提供 (おにぎりアクション協賛パートナー) : 日産セレナ、セイコーエプソン、オイシックス・ラ・大地、ニッスイ、ニコニコのり、福井県「いちほまれ」

運営協力 (おにぎりアクション協賛パートナー) : シダックスコントラクトフードサービス (「雨晴食堂」を受託運営)

レシピ開発 : 実践女子大学 (有志学生)

主催 : 認定NPO法人TABLE FOR TWO International

認定NPO法人TABLE FOR TWO International : 2007年10月設立。“TABLE FOR TWO”を直訳すると「二人のための食卓」。先進国の私たちと開発途上国の子どもたちが食事を分かち合うというコンセプトのもと、社員食堂や店舗でTFTヘルシーメニューを購入すると、代金の内20円が寄付となり、飢えに苦しむ世界の子どもに給食1食分をプレゼントすることができます。企業や官公庁、大学、病院など約700団体にご参加いただき、東アフリカと東南アジアの5カ国 (ケニア、タンザニア、ルワンダ、ウガンダ、フィリピン) を中心に、学校給食の提供、そして菜園・生産性向上プログラムの支援を実施しています。累計支援給食数は1億1000万食以上。

TABLE FOR TWO